

ファミリープレス

お気軽にご相談ください！ ご相談だけでもかまいません
 私たちは、お客様一人ひとりに合わせた保険をコンサルティングいたします。



保険お役立ち情報

■ 保険を見直す時期とは・・・

保険を見直すタイミングは人生の中でいくつもあります。就職、結婚、家の購入など、家族を取り巻く状況の変化によって、必要な保障額も変わってきます。ここでは見直しが必要になる時期や、一般的な保障内容についてご説明をいたします。ライフステージそれぞれに「保障」の目的をしっかりと定めたいうえで検討する必要があります。



婚約・結婚

今まで加入していた保険や保障額をチェックしましょう。万一の死亡保険金の受取人は配偶者に変更を。夫は増額、妻は減額、専業主婦なら不要になるケースがほとんどです。



妊娠・出産

子どもが生まれたら、万一の時に家族が生活に困らないだけの死亡保障の見直しを。子どもの養育費や学費など、いままでの保険で不足する額を上乗せします。専業主婦も、子どもが小さい間は多少の死亡保障があったほうが良いでしょう。

妻の就職・離職

フルタイムで働いていた妻が、仕事を辞めた場合、また反対に、専業主婦だった妻が仕事を始めた場合には、夫の死亡保障額を見直しましょう。



親を扶養

親を実質的に扶養することになり、自分に万一のことがあった場合に、親にもお金を残したい場合はその分、死亡保障を増額しましょう。



子どもが独立

子どもが経済的に独立したら、貯蓄との兼ね合いで保険は必要な保障だけに絞りましょう。万一の時、妻の生活を支える程度の死亡保障を確保して、多い分は減額を。また、健康なうちに老後の医療保障を見直しておくことで安心です。

就職

就職をして親から経済的に自立した時は、まずは医療保険に加入しましょう。自分に万一のことがあった時、親にお金を残したい方は、死亡保障もつけておきましょう。



家の購入

家の購入住宅ローンを利用して住宅を購入した時、団体信用生命保険に加入しておけば、万一の時には、残ったローンは保険金で相殺されます。家賃が無くなる分、死亡保障額を減額できる場合もあります。



お問合せ

F・JAPAN 株式会社F・ジャパン

〒646-0027

田辺市朝日ヶ丘25-3

TEL0739-26-7297 FAX0739-26-0506

■ 保険資料請求ご案内

商品のことや保険料のことをパンフレットで確認したいという方にわかりやすく説明した資料をお渡しさせていただきます。